



- ★三八地域県民局地域農林水産部八戸家畜保健衛生所
- ★三八畜産衛生協議会

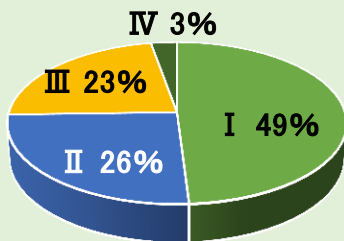
乳質改善に取り組みましょう！

当所では管内の乳質改善を目的に、JA全農あおもりの協力のもと、平成29年8～10月にかけて、管内全戸のバルク乳検査を実施しました。

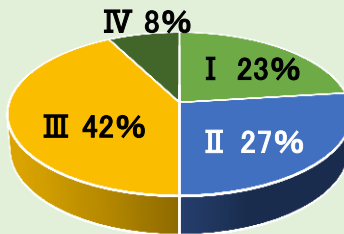
バルク乳検査は、乳房炎の原因を特定するだけでなく、搾乳衛生や搾乳機器の管理状況などを評価し、トラブルを改善するための有効な手がかりとなります。

体細胞数別農家戸数

青森県全体



管内



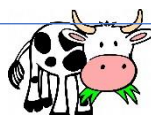
指標 I : <20万、II : ~30万、III : ~50万、IV : 50万<

三八地域は体細胞数が**高い**農場が、多いみたい。

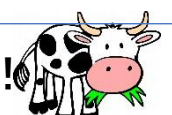


バルク乳検査での検査項目とその評価

検査項目	特徴	I	II	III	IV
		目標	やや多い	多い	とても多い
総生菌数	乳房炎牛の存在や、搾乳作業の衛生状態など、全体的な把握。	<2000	~4000	~1万	1万<
伝染性	黄色ブドウ球菌	0	<150	~250	250<
	無乳性レンサ球菌	0	<200	~400	400<
環境性	大腸菌群	<100	~400	~700	700<
	環境性ブドウ球菌	<300	~500	~700	700<
	環境性レンサ球菌	<700	~1200	~2000	2000<

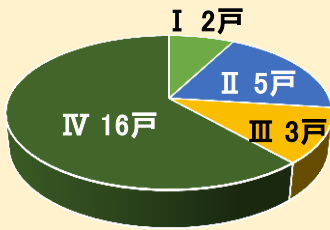


検査結果は裏面に！！



検査成績から見たこと

○総生菌数

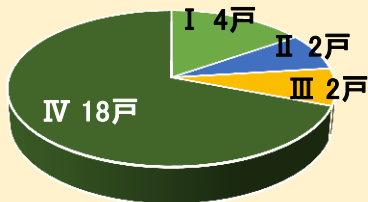


約6割がIVランク(1万CFU/ml以上)!!!

⇒ 潜在性乳房炎牛の存在や、バルク乳の汚染（搾乳手順や搾乳機器管理の不備等）が原因かもしれません。



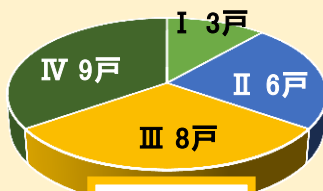
○黄色ブドウ球菌



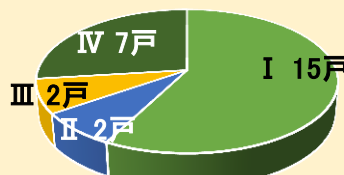
8割以上で検出！

⇒ 本菌が原因の潜在性乳房炎が発生している可能性があります。体細胞がなかなか下がらず困っている方は要注意です。

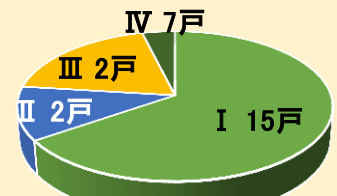
○環境性細菌



大腸菌群



環境性ブドウ球菌



環境性レンサ球菌

環境性細菌による汚染は特に大腸菌群が問題！

⇒ 畜舎の環境衛生や搾乳衛生に不備があるため、細菌数が増加している可能性があります。

乳質向上のためにも乳房炎予防のためにも、

搾乳衛生の徹底が重要です!!

慣れ親しんだ搾乳手順を振り返って、見直してみましょう。

体細胞数や総菌数がなかなか下がらず困っている方は、乳汁細菌検査を実施し、原因を調べた上で対策に取り組みましょう！
興味がある方は、お気軽にご連絡ください。

飼養している家畜に異状がみられた場合には、直ちに獣医師または家畜保健衛生所に連絡ください。

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

TEL: 0178-27-7415 FAX: 0178-27-7418

日祝祭日の場合は、家保携帯 090-7069-7714